

宇和島市NPO活動調書

団 体 名	トキワバイカ*プロジェクト
活 動 内 容	社会教育の推進を図る活動 他
事 務 局 住 所	大洲市宇和川甲 1780-2
電 話 番 号	
メールアドレス	

1. 活動内容

活動内容

- ① トキワバイカツツジの調査、保護、保全活動
- ② 宇和島地方の自然環境の調査、保護、保全活動
- ③ 次世代への自然教育、学術の振興を図る活動
- ④ 自然と人間の共存、共栄からの地域振興を図る活動

2. 活 動 実 例

※直近の活動実績及び今後の活動予定等

- 1) 自然観察会（トキワバイカツツジ、その他）
- 2) 森林ボランティア（森林環境改善の除伐作業）
- 3) 環境保全活動（①トキワバイカツツジをシンボルとする各種啓蒙活動、
②横吹溪谷をはじめとする環境保全活動）
- 4) トキワバイカツツジ移植プロジェクト（トキワバイカツツジを守りながら楽しむためのプロジェクト）など

*詳細は「トキワバイカ*プロジェクト」の FB ページをご覧ください。

3. 団 体 P R

【トキワバイカツツジと団体設立の説明】

トキワバイカツツジは 1984 年に発見された、世界で宇和島市の極一部の地域にしか自生しない希少価値の高い植物です。新聞報道でこれまで何度か取り上げられておりますが、残念ながら市民、県民の記憶にはあまり残っておらず、一部の業者だけが美しいその容姿と希少性からネット上で 6000 円～8000 円で販売をしています。

トキワバイカツツジは現在、レッドデータブックで愛媛県カテゴリーで絶滅危惧 1A 類、環境カテゴリーで絶滅危惧 1B 類に選定されています。また、「愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例」では特定希少野生動植物に指定され、その保護、保全に関しての県、事業者、県民等の責務が明らかにされております。

また、自生地では盗掘、採取の懸念事項の他に、「遷移進行による光条件の悪化や自然災害による生育環境の悪化が懸念される」（引用：愛媛県レッドデータブック 2014）とあり、元々里山で人の手が適度に入り維持されていた環境が放置され、シイの木等に光を遮られ、トキワバイカツツジの生育に影響を与えていると指摘する専門家もいます。

当会は、「生物多様性」「SATOYAMAイニシアティブ」、「世界植物保全戦略」を元にトキワバイカツツジ等の宇和島、愛媛の自然環境を保護しつつ自然と人間並びに人間と人間の共生・共存の思想を育てていきます。それがわれわれのミッションです。

【活動理念】

「植物を通じて地元 宇和島と愛媛を活気のある場所に」のキャッチフレーズのもと、世界で宇和島にしか自生しないトキワバイカツツジの保護、保全等の活動を通じ、地域の人々とともに宇和島と愛媛を活性化するための活動を行います。

宇和島で色々な方からお話を聞いていると、「宇和島にはなんにもないんよ」「高齢化がすすんで駄目なんよ」ということを良く耳にします。ただそのなんにもないところには、世界で宇和島にしか自生しないトキワバイカツツジがあります。宇和海の海岸には大木のアコウやハマオモト（ハマユウ）等の南方系の植物や鬼ヶ城山系にはブナ林等があります。また、闘牛や走り込み等という伝統文化があります。海には日振島、沖ノ島、戸島等といった美しい島々があります。街中には雨が降っても傘なしで歩ける商店街があります。年を取られた方々にはその年だけの知識と経験があります。トキワバイカプロジェクトは宇和島にあるものをきちんと保護、保全、活用しながら地元の方々、他県の方々、世界の方々に宇和島の自然や文化の周知を進めていきます。

21世紀の地球は、豊かな水と緑そして人間の知恵が資源となるはずです。江戸時代の終わり、宇和島藩は僻地に存在していたにも関わらず、人的資源を大事にする藩主 伊達宗城がいたため、薩摩藩島津斉彬、島津久光と土佐藩山内容堂、福井藩 松平春嶽と並び四賢侯として知られ、城下町に活気があったそうです。1800年代後半に栄えた街が現代の今、栄えないわけがあるとすればなにがあるのでしょうか？

トキワバイカプロジェクトの役割は、地球上で急速に減りつつある「生物多様性」という大切な資源を次世代に引き継ぐために、生物多様性の保全、里山の保全活動等を通じて自然と人間並びに人間と人間の共生・共存の思想で育んでいく。それが我々のミッションです。